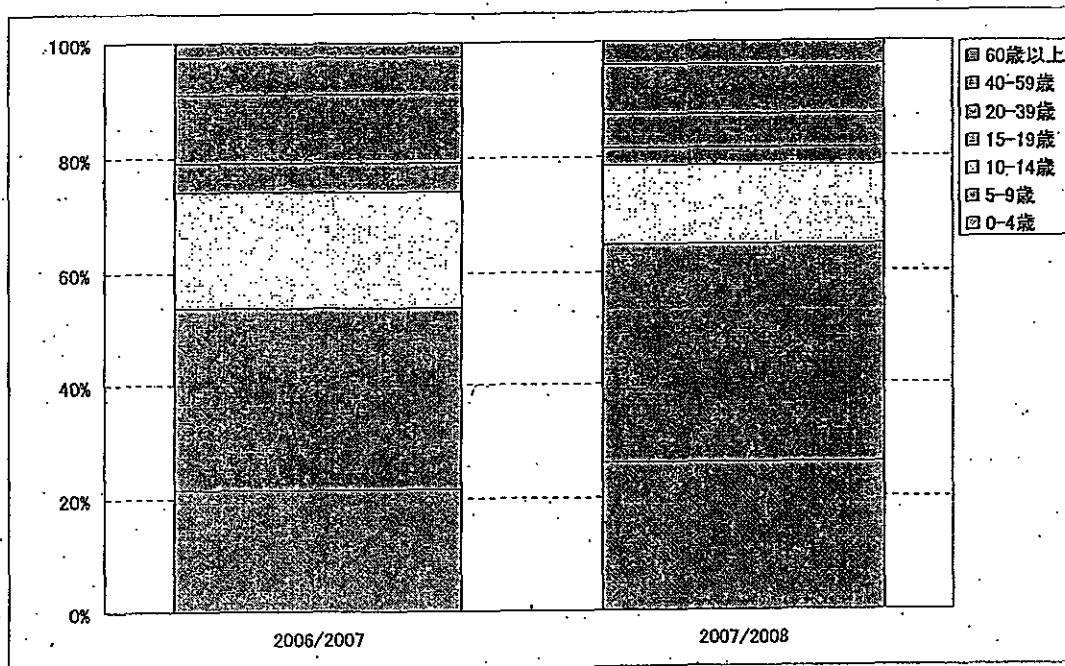


図3.年齢別インフルエンザ 患者報告数



7

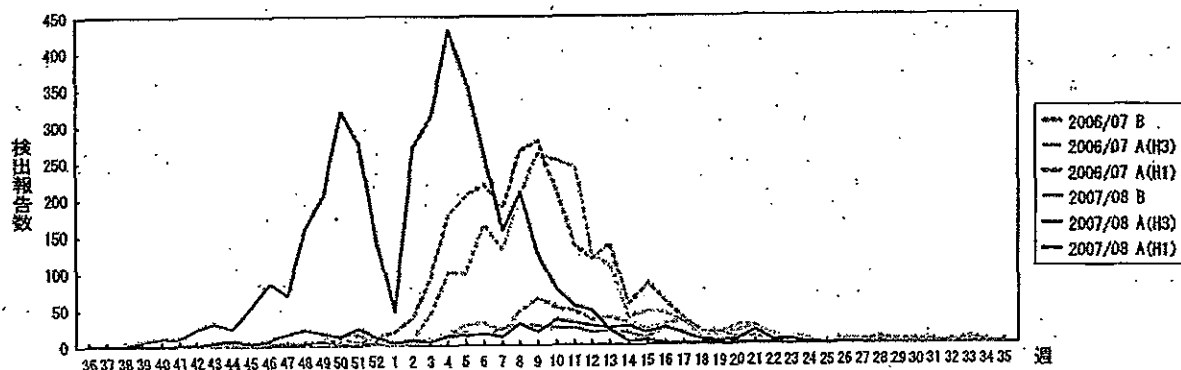
出典: 発生動向調査

図4.型別インフルエンザウイルス 分離の検出報告数

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2006/07 & 2007/08シーズン
(病原微生物検出情報：2008年7月1日 作成)

* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

ISIRI
Infectious Disease Surveillance and Report



8

調査概要

9

調査概要

- 重度の異常な行動に関する調査（重度調査）
 - すべての医療機関
 - 2006／2007シーズン：後向き調査
 - 2007／2008シーズン：前向き調査
- 軽度の異常な行動に関する調査（軽度調査）
 - インフルエンザ定点医療機関
 - 2007／2008シーズン：前向き調査

10

調査概要（重度）

- 調査依頼対象：すべての医療機関
- 報告対象：インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動※を示した患者
 - － ※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動
- 報告方法：インターネット 又は FAX

11

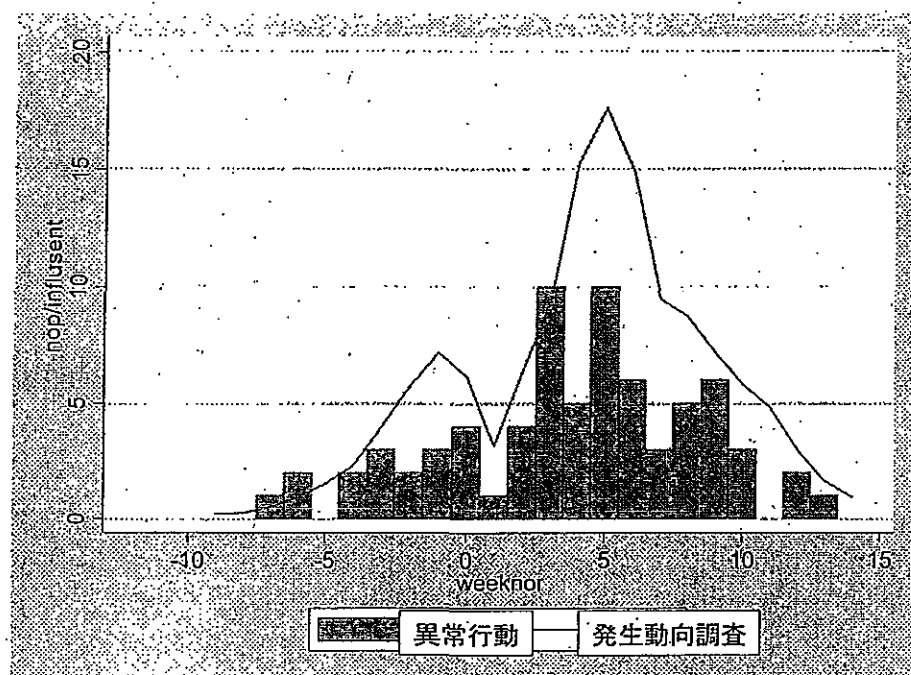
インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準（報告基準）

- インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動を示した患者
- インフルエンザ様疾患
 - － 臨床的特徴（上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと）を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者
 - 次のすべての症状を満たす者①突然の発症、②高熱（38℃以上）、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
 - 迅速診断キットで陽性であった者
- 重度の異常な行動
 - － 突然走り出す
 - － 飛び降り
 - － その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

12

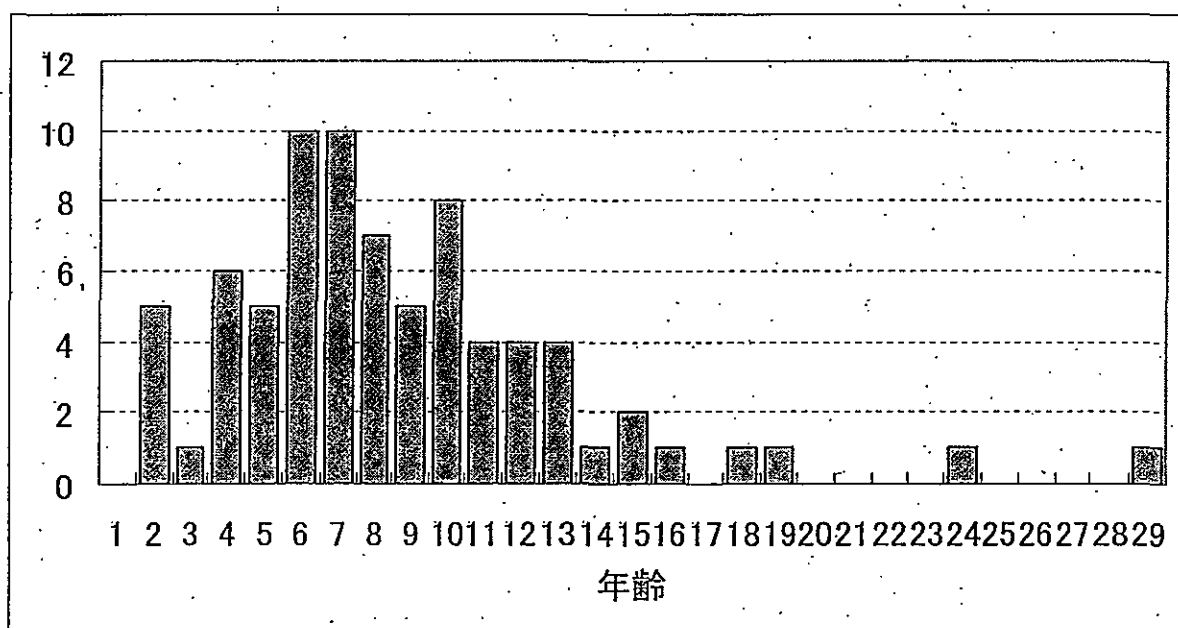
######

図5.異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査



15

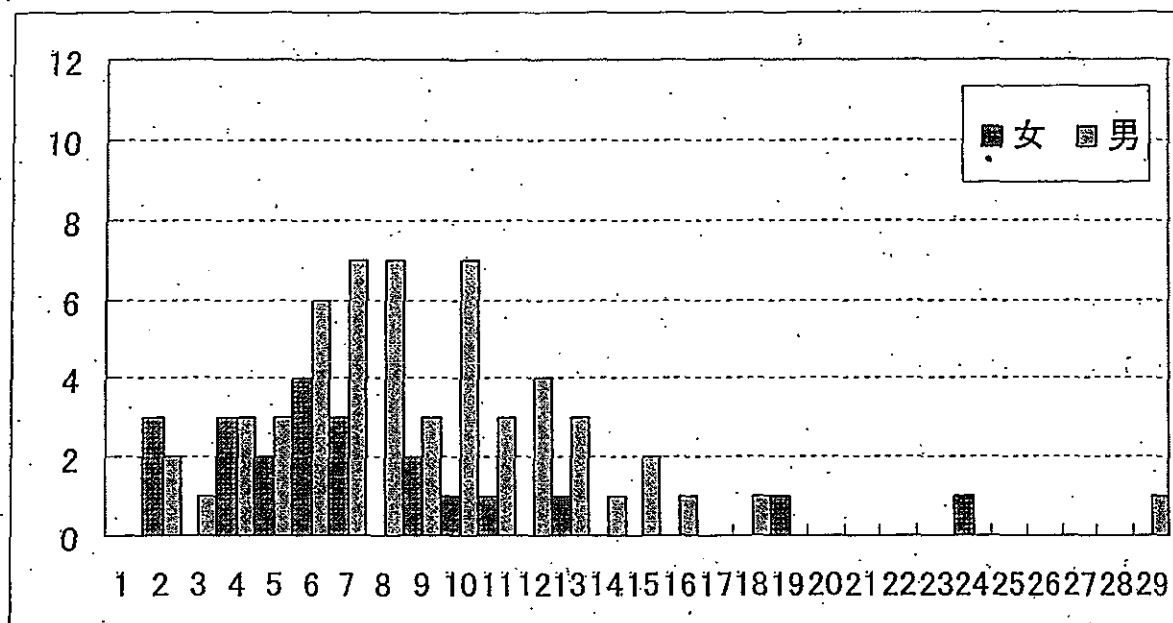
図6. 患者の年齢n=77



平均値8.66
中央値8

16

図7.患者の年齢と性別n=77

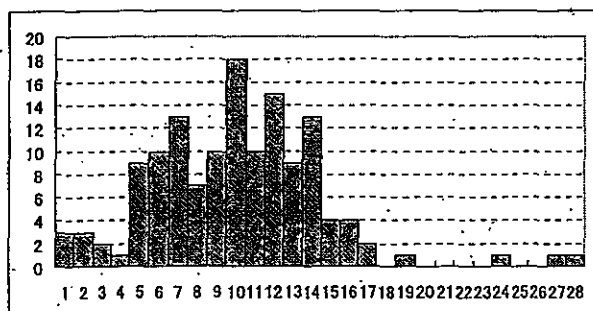


17

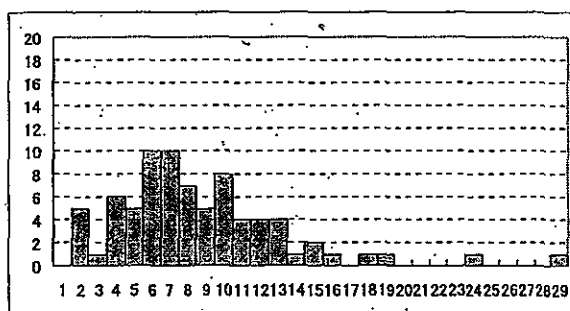
図8.昨シーズンとの比較

2006/2007

2007/2008



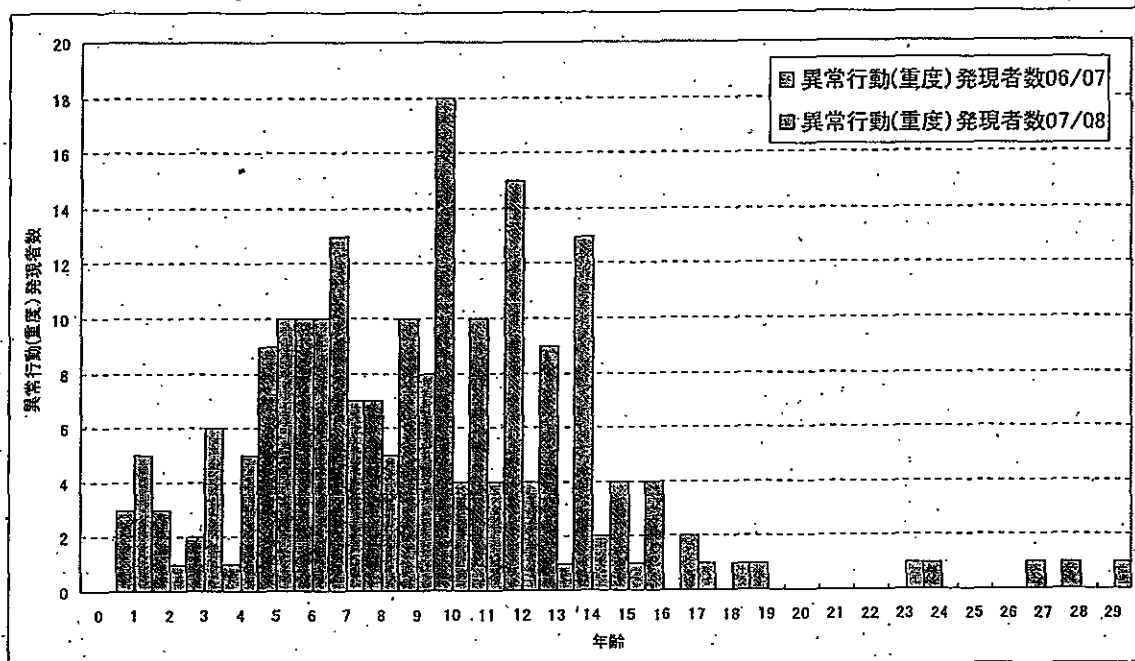
平均値10.11
中央値10



平均値8.66
中央値8

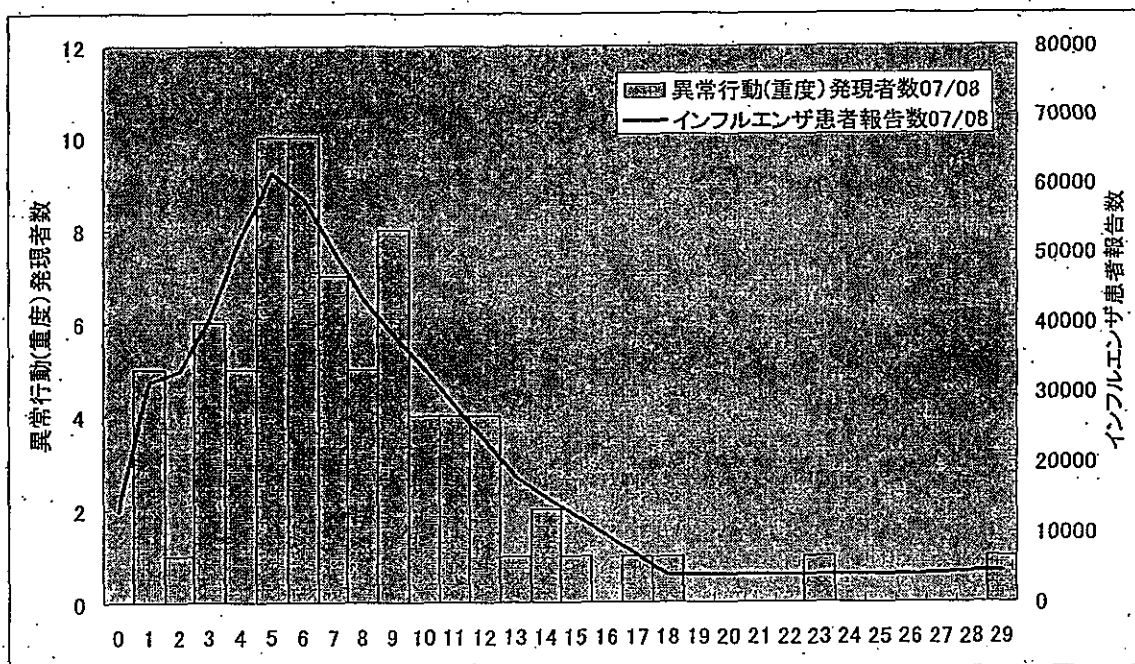
18

図9.昨シーズンとの比較



19

図10.異常行動（重度）発現者数と インフルエンザ患者報告数 2007/2008シーズン



20